

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	かわさき新産業創造センター(KBIC)	評価対象年度	平成26年度
事業者名	・事業者名 公益財団法人 川崎市産業振興財団 ・三井物産ファシリティーズ株式会社共同事業体 ・代表者名 代表団体 公益財団法人 川崎市産業振興財団 理事長 曾禰 純一郎	評価者	次世代産業推進室 イノベーション推進担当課長
指定期間	平成24年4月1日～平成29年3月31日	所管課	経済労働局次世代産業推進室

2. 事業実績

利用実績	入居者募集を2か月ごとに計6回行い、100㎡以上の大規模居室3室の入居者が決定するなど、空き居室への新たな企業等の誘致を行った。結果、年度当初は入居率が90%を下回っていたが、平成27年3月31日時点では、25企業・4研究室・4大学コンソーシアムが入居し、96%の入居率(面積)であった。 なお、年間の平均入居率(面積)は91%であった。
収支実績	収入 指定管理料:0円、利用料金収入:187,218,121円、事業収入:949,965円、 その他収入等:93,654,870円 合計:281,822,956円 支出 人件費:55,548,975円、事業費:66,168,585円、施設管理費:169,175,729円、 合計:290,893,289円 収支は9,070,333円の赤字となった。
サービス向上の取組	インキュベーションマネージャーが中心となって入居者へのヒアリングを行い、入居者ごとのニーズや課題を把握し、販路開拓や補助金申請を支援するなど、入居企業の成長支援に取り組んだ。市と協力し、入居者に対する施設運営方法等に関するアンケート調査を実施し、運営方法の改善を図った。 施設内のものづくり工房やCAD/CAM室を活用し、技術アドバイザーによる試作支援や機器操作指導、セミナーの開催を行うことにより、入居企業や市内企業の基盤技術高度化に取り組んだ。

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
利用者満足度	利用者満足度	利用者満足度調査を適切に実施しているか	10	4	8
		利用者満足度は向上しているか			
		調査結果の分析を行い、満足度向上のための具体的な取組に反映しているか			
	事業成果	事業実施による成果の測定が適切に行われているか	10	3	6
当初の事業目的を達成することができたか					
	(評価の理由)	<p>1社当たり年3回以上というヒアリング計画に対して、インキュベーションマネージャー等によって延べ266回、1社当たり平均9.5回のヒアリングを行い、入居企業のニーズを把握し、ビジネスマッチングや取引先開拓支援、各種公的支援メニューの獲得支援等の入居企業への支援に取り組んでいる点は評価できる。また、施設の維持管理を適切に行い、入居者の高い満足度を維持するとともに、アンケート調査での要望を踏まえ、自転車置き場の整備や自動販売機の改善(販売品目や価格設定)、昼食場所に関する運用の改善など、利用者の満足度向上に向けた具体的な取組が行われている。</p> <p>また、年間を通じて定期的な入居者募集を行い、入居率の向上に努め、入居率90%以上維持の目標を概ね達成した。</p> <p>一方で、卒業企業の市内立地率や売上高増加率については、前年度からの向上はみられるものの、目標達成に至らなかった。</p>			

収支計画・実績	効率的・効果的な支出	計画に基づく適正な支出が行われているか	7	3	4.2
		支出に見合う効果は得られているか			
		効率的な執行等、経費縮減の具体的な取組は為されたか			
	収入の確保	計画通りの収入が得られているか	7	3	4.2
		収入増加のための具体的な取組が為されているか			
	適切な金銭管理・会計手続	収入と預かり金等を区別し、適切に管理を行っているか	6	4	4.8
事業収支に関して適正な会計処理が為されているか					
<p>(評価の理由)</p> <p>収入は、利用料金収入の2,636千円の増があった一方、施設の安定稼働や省エネ運転の実施等によりクリーンルームでの電気利用料が予算を大幅に下回ったことにより、全体として13,974千円の減となった。</p> <p>支出は、人件費や施設経費の節減、電気利用料の大幅な減少等があった一方、昨年度の剰余金を入居者の利便性向上に有効活用する観点から、クリーンルームの機能向上対策や高精度3Dプリンタの導入等を当初計画に追加して行ったため、全体として4,903千円の減となった。</p> <p>よって、収支では9,070千円の赤字となった。</p> <p>本年度の事業収支は赤字となっているが、上述のとおり、これまでの剰余金を利用者に還元する観点での支出を行ったことが要因であることから、適切な支出として評価ができる。</p> <p>施設の安定的な稼働を維持しつつ、管理経費の節減を図っている点は評価できる。</p> <p>平成25年度より本格的に移動を開始した会計システムの安定運用に努め、振込手数料を収入ではなく預かり金として処理するなど、適切な金銭管理を行っている点は評価できる。</p> <p>また、施設の入居率が向上し、支援回数等の目標はクリアしつつ安定的な事業執行がなされている点も評価できるが、入居企業の成長や卒業企業の市内立地などの目標指標は、達成には至っておらず、事業費の効果的な支出については、さらなる改善の必要があると考えられる。</p>					
サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	10	3	6
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか			
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
	業務改善によるサービス向上	実施計画と実際のサービス提供に「ずれ」が生じている場合、原因究明に必要な取組が為されているか	10	3	6
		業務改善が必要な場合に、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われているか			
		業務改善の取組によって具体的な効果があらわれたか			
	利用者の意見・要望への対応	利用者ニーズの把握に努め、それを事業や管理に反映させる取組が為されているか	10	4	8
		意見・要望の収集方法は適切だったか(十分な意見・要望を集めることができたか)			
		利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか			
<p>(評価の理由)</p> <p>入居企業に対し、インキュベーションマネージャー等が目標回数以上のヒアリングを行うとともに、入居企業支援記録(支援カルテ)を作成し、その後の成長支援業務等に活用している点は評価できるが、売上高や卒業企業の市内立地率の向上につなげるため、さらなる取組を行う必要がある。</p> <p>アンケート等により入居者・利用者ニーズの把握を行い、自動販売機の内容変更や自転車置き場の整備、施設共用部へのWi-Fi整備、各種セミナーの開催日の工夫など、業務への反映を柔軟に行っている点は評価できる。</p> <p>さらに、指定管理事業による収支差益を有効活用する観点から、入居企業や市内企業等のニーズを踏まえ、今後のものづくりに活用が期待される高精度3Dプリンタの導入を行った点等は評価できる。</p>					

組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか			
	連絡・連携体制	定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか	3	3	1.8
	再委託管理	再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認が為されているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか	3	3	1.8
	安全・安心への取組	事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	3	3	1.8
		緊急時に警察や消防など関係機関と速やかに連携が図れるよう、連絡体制を構築し、定期的に情報交換等を行っているか			
	コンプライアンス	個人情報保護、その他の法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	3	4	2.4
	職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか			
環境負荷の軽減	環境に配慮した調達や業務実施が行われているか	3	3	1.8	
(評価の理由) 事業計画に基づき、入居企業の成長支援のためのインキュベーションマネージャー等のスタッフの他、クリーンルームの管理運営に必要な専門的知識を有する設備管理スタッフ等を配置し、安定的に業務を遂行している。また、市担当者との定期的な会議等において入居企業や施設管理等の状況について報告し、必要に応じて指示を受けるなど、市担当者や業務の実施状況の情報共有を図りつつ、業務にあたっている。 企業支援の過程で得た情報や重要資料等の管理に当たっては、マニュアルを整備し、今年度は新たに入居者管理システムを導入するなど、適切に実施している。 新たな環境システム・機器等の導入は特にはないが、クリーンルームの安定的な稼働を維持しつつ、省エネルギーの観点での入居者と協力した運転方法の改善に取り組み、電気料の削減に努めている。					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか			
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか。	8	4	6.4
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか			
	清掃業務	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか			
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか	7	5	7
	外構・植栽管理	外構の植栽を適切に管理(草刈、剪定、害虫駆除等)しているか			
(評価の理由) 施設・設備の保守管理については、利用規定を整備し、高度な管理が要求されるクリーンルームの管理にも適切に対応するなど、入居者への施設の安全な利用環境の提供を行っている。また、施設内の清掃や外構・植栽の管理について、事業計画に基づき適切に実施し、清潔で快適な環境の維持に努めており、利用者からも極めて高い評価を得ている。					

4. 総合評価

評価点合計	70.2	評価ランク	B
-------	------	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

個人の創業、企業の新たな事業分野への進出を促進するという、本施設の設置目的を踏まえ、入居企業へのヒアリング等を通じた、成長支援を実施している点は評価することができる。市内企業のものづくり基盤技術の高度化に向けた支援についても、施設内の設備の利用環境を整え、入居企業の試作や加工の支援を行うとともに、3次元CAD/CAM講習会をはじめとするものづくりに携わる技術者向けの充実した内容の研修を実施している点も評価することができる。

施設の管理については、クリーンルームなど高度な管理が求められる本施設の状況を踏まえ、専門的知識を有する適切な人員を配置し、大きなトラブルを発生することなく管理が行われている。

また、入居者アンケートを踏まえた施設運営方法の改善や、事業収支差益の入居者への還元など、施設の設置目的を踏まえた前向きな取組が行われている。

一方、卒業企業の市内立地率と入居企業の売上高増加について、昨年度に引き続き目標が達成できなかった点は、入居企業への支援体制の強化などさらなる対応が必要であると考え。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

施設管理については、現状行われている高いレベルでの施設管理を維持するとともに、適宜利用者ニーズの把握を行い、利用者に快適な事業環境を提供できるよう、引き続き指導していく。

入居企業の成長支援については、引き続き高い入居率を維持しつつ、平成26年度は卒業企業の市内立地率・入居企業の売上高増加率という面で目標が達成できなかったことを踏まえ、外部の専門家の活用による支援体制の強化や、マッチングイベントへの出展数を増やす等、有効な対策を協議・検討していく。

ものづくり基盤技術高度化支援の研修等については、さらに広報活動に力を入れ、受講者の増加を図るとともに、新たに導入した高精度3Dプリンタを有効に活用し、技術動向や市内ものづくり企業のニーズを踏まえた内容とするよう指導を行う。